

第8回 高知港海岸景観・利便性等検討会

第7回検討会の主なご意見と対応(案)

令和4年10月24日

高知県土木部港湾・海岸課
国土交通省四国地方整備局

1. 開催概要

第7回 高知港海岸景観・利便性等検討会

日 時 : 令和3年3月2日(火) 13:30~15:30

場 所 : 高知城ホール 大会議室

【委員】(敬称略)

磯部 雅彦

(高知工科大学 学長)

重山 陽一郎

(高知工科大学 システム工学群 建築・都市デザイン専攻 教授)

原 忠

(高知大学 教育研究部 自然科学系 理工学部門 教授)

大倉 美知子

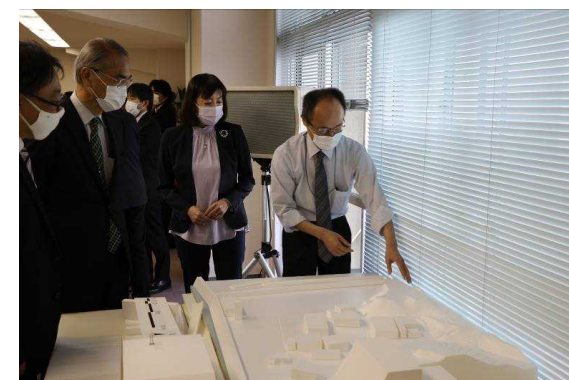
(カラーオフィスPERSONAL代表)

【審議事項】

- ・ 桂浜公園における現状の利用について
- ・ 桂浜公園における整備計画等について
- ・ 桂浜公園における海岸保全施設整備の方向性について



磯部委員長



模型説明



審議の様子

2. 主な意見① 『桂浜公園における整備計画等』に関する意見

◇整備の考え方について

1. 桂浜は、年間70万人が訪れる日本のなかでも有数の観光地。そこに隣接する堤防をきれいに使いやすく、景観・利便性を高めることで、浜を一体的に利用できるようにすれば、観光客の人達も今まで以上に満足するし、**アクティビティもバラエティに富んだもの**になってくる。
2. 県外からの方を桂浜に案内し、本浜の岬に見える場所が擬岩である話をすると、皆驚かれる。最初の整備の時点で、人工的に見える幾何学的なものを作らずに、自然の岩礁地帯にしか見えない擬岩としたことで、**桂浜の景観が維持**されている。このような考え方を継続的に、今回の堤防の検討においても、よく考えて計画、設計をしていくと良い。
3. 高知県への観光客誘致には、今回の三重防護プロジェクトが、**安全・安心のおもてなし**に繋がるのではないかと考えている。

3. 主な意見②『桂浜公園における海岸保全施設整備の方向性について』

	意見（整備コンセプトについて）	対応
1	整備コンセプトについてだが、今回の整備は、防災機能が重要な点であるため、もう少し踏み込んだ内容として欲しい。この 施設を整備することで、安心・安全なまちづくりに貢献する というような踏み込みをお願いしたい。	整備方針の冒頭に防災機能が前提である旨を強調 ⇒資料3 P4
2	この整備は、防災教育の一貫としても活用できるのではないか。整備箇所の一部に 港湾防災を必然的に学べるような何かの場 ができれば良い。	事業説明サインを詳細設計時に検討
3	今まで本浜だけが桂浜だと思っていた方が、今回の護岸を造る、津波防波堤を造るということを通じて、 東浜も観光の場として考えられる ようになり、東浜の先の防波堤のところも利用面で生きてくるような所になる。津波防災事業ではあるが、利用面が空間的に広がっていく、桂浜を飛躍的に良い観光地にする良い機会だと思う。	全体動線計画として、護岸から東浜に降りる横断施設を設置し、東浜の利用も促す ⇒資料3 P7
4	観光客の方に桂浜を広く廻っていただくという意味では、 防波堤、護岸の端に何か魅力的なものを作り、そこを見に行くような工夫 があると良いと思う。	津波防波堤の先端上部工形状を工夫し、眺望スペースを設置 ⇒資料4 P7
5	高知県が計画する 小型旅客船の発着場整備に賛同 する。観光客がバス停で、桂浜行きのバスの本数が少ないことを嘆く場面に遭遇した。桟橋通五丁目の電停からの新たな移動手段としても期待している。	小型旅客船の運用を前提として計画しており、引き続き関係者と連携を図る。 ⇒資料3 P7

3. 主な意見③ 『桂浜公園における海岸保全施設整備の方向性について』

	意見（護岸のデザインについて）	対応
1	構造的な問題であるが、重力式護岸は景観面で単調でかつ、圧迫感が出てしまう側面がある。 機能面を失わずに景観面を改善するアイデア を考えて欲しい。	北側護岸の公園側の圧迫感対策として、構造目地の強調や横断構造物の配置により、横方向の面を分節 ⇒資料-3 P16
2	東北の堤防整備は単調な形状による分かりにくさや圧迫感が気になる。今回の整備は、地域のランドマークとなるような施設も考えられるため、構造体に化粧をするだけに留まらず、 周りの全体的な景観にも配慮した検討 を進めて欲しい。	龍馬像付近や津波防波堤は地域の新しいランドマークになりうるようデザイン ⇒資料-3 P21,22、資料-4 P4
3	桂浜地区は対岸の種崎地区と異なり、設計条件が非常に厳しく、 むき出しの土木構造物そのものが見えることとなる。土木構造物そのものをきれいに作るか、どんと見せても嫌ではないものになると良い。	コンクリートの構造美を活かすために、表面の凹凸や笠石など陰影により壁面をデザイン ⇒資料-3 P12,14
4	スロープ、階段など、 人が昇降する箇所については、ヒューマンスケールでデザイン できると良い。そうでない所は構造物が否応なしに出てしまうが、あまり近くから見ることもないため、ある程度引いて見た時にカッコいいものになれば良い。	遠景・中景はシルエットと陰影デザイン、近景はヒューマンスケールでデザイン ⇒資料-3 P21
5	整備コンセプトに「 龍馬スピリットを感じられる防潮堤 」の追加を提案。天端を歩く際のテーマ設定、デザインのモチーフに船の先端を採用、コンクリート色を帆船の帆をイメージした白に近いライトグレーを選ぶことで統一感が得られる。	細部デザイン時に検討予定

3. 主な意見④『桂浜公園における海岸保全施設整備の方向性について』

	意見（避難計画との連動について）	対応
1	津波のことをずっと議論しているが、防災面では、高潮・高波のことも考慮する必要がある。L1対応の堤防はかなり高いが、台風で高潮・高波が発生した際に、天端の歩道は立ち入り禁止になるのか。高潮による越波量を予測している場合は教えて欲しい。護岸に対して、平行方向に波が入ってきた場合、津波防波堤で波が反射し北護岸の波高が高くなることが当然生じてくると思う。	護岸の高さはL1津波水位により決定されており、高潮波浪時の越波量を算定した結果、港湾基準に示す許容値以下となることを確認した。 津波防波堤・護岸上の利用制限は今後、関係者とルール作りを行う
2	高知県は、最大クラスの津波が来た場合、津波高は極めて高い予測であるが、最も高い波が来るまでには時間があり、それまでに護岸よりも陸側に逃げられれば、後の時間稼ぎは護岸でも可能。その間に浦戸地区の桂浜荘まで避難が間に合うことが保証されればよいため、確実にチェックすること。	整備される海岸保全施設から津波到達時間内に避難が可能 ⇒資料-3 P28
3	避難計画については、桂浜公園全体の避難路（避難所に設定されている桂浜荘に速やかに避難できる動線）を兼ねた、バリアフリー利用動線の整備検討を追加でお願いしたい。	公園全体の避難路を位置付けた。今後、関係者とサイン計画を検討 ⇒資料-3 P28